

日米投信概況

世界の中南米株ファンド月次流出入(ETFを含む)~日本籍はゴールド/金や欧州株の純流入が継続<ETFエコシステム>、米国籍はビットコイン等が7週連続純流入で欧州株が2週ぶり純流入、中南米諸国が最有力投資先に浮上!?!~

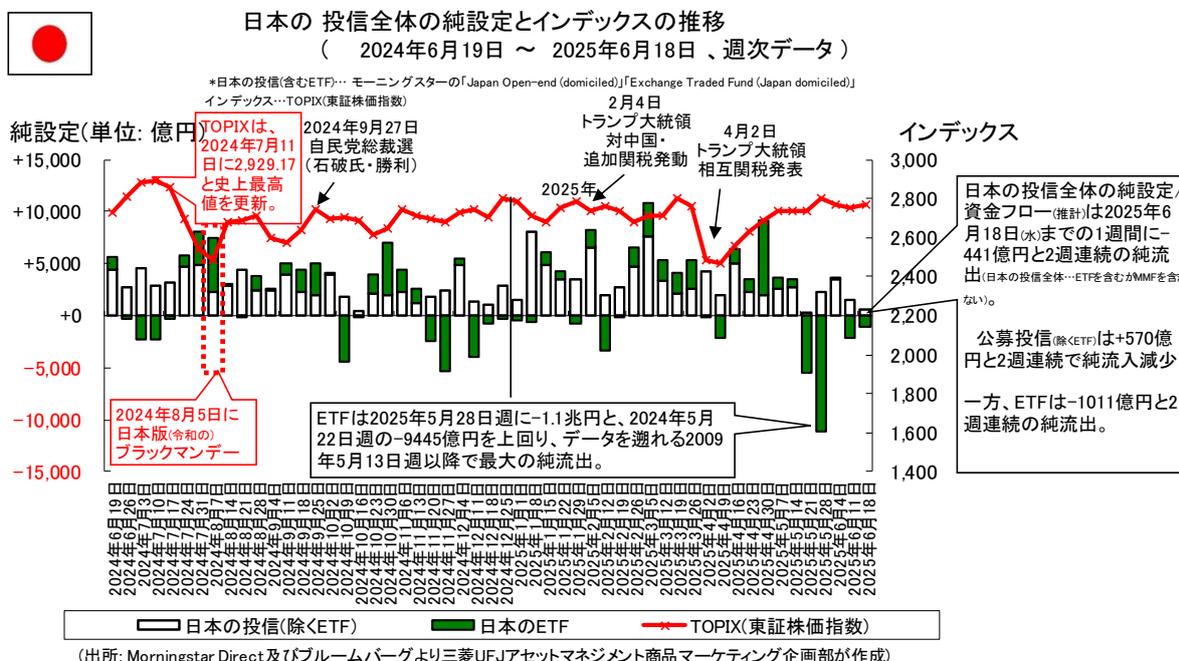
三菱UFJアセットマネジメント株式会社 商品マーケティング企画部 松尾健治 (kenji-matsuo@am.mufg.jp) 窪田真美 (mami1-kubota@am.mufg.jp)

- 日本籍はゴールド/金は引き続き堅調な純流入で欧州株も純流入が継続<ETFエコシステム>.....p.1
- 米国籍はビットコイン等が7週連続純流入で欧州株が2週ぶり純流入~中南米諸国が最有力投資先に浮上!?! 世界の中南米株ファンド月次流出入(ETFを含む)~.....p.4

●日本籍はゴールド/金は引き続き堅調な純流入で欧州株も純流入が継続<ETFエコシステム>

日本籍投信の週次純設定/ファンド(マネー)フロー推計を見ると、2025年6月18日(水)までの1週間に-441億円と2週連続の純流出(日本の投信全体...ETFを含むがMMFを含まない~Morningstar Directより)。

日本籍公募投信(除くETF)は2025年6月18日(水)までの1週間に+570億円と2週連続で純流入減少。日本籍ETFは2025年6月18日(水)までの1週間に-1011億円と2週連続の純流出。



日本籍公募投信(除くETF)の6月18日週の純設定額+570億円について分類別に見る。純流入1~3位はグローバル株、米国株、グローバル株-日本を除く。4位に商品/コモディティ、7位に欧州株。純流出1~3位はグローバル・特定テーマ/セクター株、日本株大型グロース、トレーディング-レバレッジ/インバース。

**ゴールド/金は引き続き堅調な純流入**である(ゴールド/金については前回2025年5月12日付投信調査レポートNo.438「世界のゴールド/金ファンド月次動向(ETFを含む)月次流入」～ [https://www.am-mufg.jp/report/investigate/report\\_250512.pdf](https://www.am-mufg.jp/report/investigate/report_250512.pdf) )。

**欧州株も純流入が継続している**(前回2025年5月26日付投信調査レポートNo.439「世界の投資地域別ファンド流入(含むETF)が示す米国から欧州へ」～ [https://www.am-mufg.jp/report/investigate/report\\_250526.pdf](https://www.am-mufg.jp/report/investigate/report_250526.pdf) )。

日本の投信の分類別週間純流出(純流入の大きい順) 2025-06-18現在  
**\*ETF・MMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。**

順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万円)	純流入 前週 (百万円)	純流入 4週計 (百万円)	純資産 (百万円)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部)
上位 10 分類 ↑	1 World Equity	+55,124	+83,807	+319,363	21,018,138	グローバル株
	2 US Equity	+44,805	+65,220	+270,756	25,347,439	米国株
	3 World ex-Japan Equity	+23,244	+14,581	+122,244	13,013,772	グローバル株-日本を除く
	4 Commodity	+20,172	+16,489	+69,505	1,585,165	商品
	5 Moderately Aggressive Allocation	+7,187	+3,254	+34,702	4,293,416	モデレート・アグレッシブ・アセットアロケーション
	6 Aggressive Allocation	+4,506	+3,189	+17,908	883,707	アグレッシブ・アセットアロケーション
	7 Europe Equity	+4,284	+4,479	+19,301	207,233	欧州株
	8 Japan Large-Cap Value Equity	+3,625	+879	+7,816	1,533,470	日本株大型/バリュー
	9 US REIT	+3,425	+6,820	+10,381	2,178,017	米国REIT
	10 Moderate Allocation	+3,005	+3,539	+30,459	4,398,664	モデレート・アセットアロケーション
下位 10 分類 ↓	74 US Equity - JPY Hedged	-2,494	-2,378	-11,138	590,998	米国株-円ヘッジ
	75 World Equity - JPY Hedged	-2,684	-2,335	-9,366	583,904	グローバル株-円ヘッジ
	76 Global Emerging Markets Equity	-2,773	+2,367	+4,944	1,393,041	エマージング株-グローバル
	77 World Bond - JPY Hedged	-3,442	-1,932	-2,084	1,701,906	グローバル債-円ヘッジ
	78 Other Equity	-3,684	-1,558	-8,773	1,368,931	その他株
	79 Japan Small/Mid-Cap Growth Equity	-4,579	-4,909	-15,763	1,040,415	日本株中小型株グロース
	80 Country/Region Specific Equity	-4,636	+631	-2,088	278,408	単一国/地域株
	81 Trading - Leveraged/Inverse	-11,427	-9,721	-25,591	660,392	トレーディング-レバレッジド/インバース
	82 Japan Large-Cap Growth Equity	-34,746	-26,649	-88,673	7,265,638	日本株大型グロース
	83 World Specialty Equity	-38,364	-7,935	-59,302	12,905,413	グローバル・特定テーマ/セクター株
	全83分類の合計	+56,975	+145,800	+785,706	143,417,997	
	指数名	リターン※ 最新週(%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
	TOPIX (東証株価指数)	+0.70	+0.13	+2.83		
S&P500	-0.65	+0.89	+2.45			
MSCI ワールド	-0.73	+0.68	+1.96			

(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)  
 ※現地通貨(MSCI ワールドは米ドル)ベース、配当込み指数。

2025年5月28日週にETFが-1.1兆円と、2024年5月22日週の-9,445億円を上回り、データを遡れる2009年5月13日週以降で最大の純流出(交換)だった事についてである(2025年6月9日付投信調査レポートNo.440「世界の日本株ファンド月次流入(ETFを含む)～週次流出: 日本籍は欧州株に8年ぶり大きな流入でゴールド/金も堅調! 日本株ファンドが大幅純流出! 米国籍は債券、ビットコイン、欧州株、インド株に純流入! 日本株は純流出～」～ [https://www.am-mufg.jp/report/investigate/report\\_250609.pdf](https://www.am-mufg.jp/report/investigate/report_250609.pdf) )。

2025年6月12日(毎月第9営業日の午後4時)に投資信託協会が2025年5月の投資信託概況を公表、そこで日本籍ETFが1兆4,491億円の純流出と言う2007年7月以来の大きさとなった事がわかった(2025年6月12日付投資信託協会・投資信託概況のB-1 資産増減状況「株式追加型ETF」～ <https://www.toubin.or.jp/statistics/statistics/data/>、2025年6月5日付日本経済新聞「日本株ETF「5月売り」、1カ月に1兆円超流出、地銀や保険会社 債券損失の穴埋めか」～ <https://www.nikkei.com/article/DXZQ0U3R2A4Y05A600C200000/> )。先週終わり6月20日(金)に6月12日開催の投資信託協会会長(大和証券出身の松下浩一氏)による定例会見概要が公表され、そこで記者が最初に「5月はETFで資金流出があり、資金減少額(1兆4,491億円)は2007年7月(1兆6,754億円)以来の水準ということであるが、もう少し詳しく説明いただけることがあればお願いしたい。」と質問、同協会統計情報室長が「主に資金流出が見られたのは、商品分類別では国内株式のTOPIXに連動するタイプの商品であった。なお2007年7月の動きについて補足すると、その前月の同年6月に1兆3,930億円の資金流入があったため、この揺り戻しがあったものと思われる。」と答えている(強調下線は当レポート筆者、2025年6月20日公表の投資信託協会会長による定例会見概要～ <https://www.toubin.or.jp/press/2025/22913> )。

2007年7月(ETF-1兆6,754億円の純流出)の動きについての補足との事だが、2024年5月(ETF-1兆2,059億円の純流出)も2007年7月(1兆6,754億円)以来の水準であり2025年5月に近い動きだった(強調下線は当レポート筆者、2024年7月8日付投信調査レポートNo.418「日本の日本株ETF巨額流出は裁定取引で

米国の大型クロス(ハイテク)株ETF巨額流出は分散投資ルール(IRSの基準保有制限)?」~ [https://www.ammf.jp/report/investigate/report\\_240708.pdf](https://www.ammf.jp/report/investigate/report_240708.pdf))。投資信託協会も2024年6月13日の投資信託協会会長による定例会見(2024年6月27日に概要公表)で記者が「国内株式型で資金流出超の動きがあり、その規模もかなり大きかった。主にETFで大きな解約があったようであるが、この要因や背景について伺いたい。」と質問、同協会統計広報部長が「ETFを銘柄別に見ると、主に日経225連動型、TOPIX連動型からの資金流出が大きかった。5月に、指定参加者(証券会社)が、ETFを現物株式へ活発に交換したことの結果であると考えられる。」、同協会広報部長が「ETFの日経225連動型、TOPIX連動型は、現物拠出型と呼ばれている。このタイプで、資金増減額がマイナスになっているという事は、指定参加者(証券会社)がETFから現物株式への交換を行ったという事を意味する。」と答えていた(強調下線は当レポート筆者、2024年7月8日付投信調査レポートNo.418「日本の日本株ETF巨額流出は裁定取引で米国の大型クロス(ハイテク)株ETF巨額流出は分散投資ルール(IRSの基準保有制限)?」~ [https://www.ammf.jp/report/investigate/report\\_240708.pdf](https://www.ammf.jp/report/investigate/report_240708.pdf))。

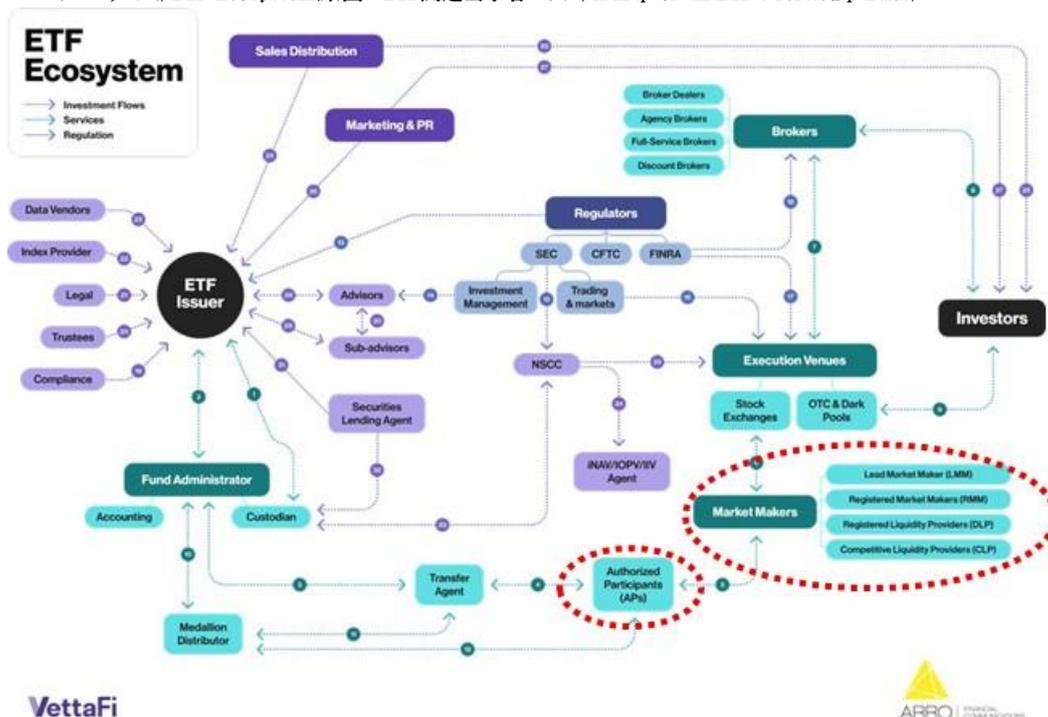
なお、投資信託協会は前任の会長(野村証券出身の松谷博司氏)時代においてはETFの目立った流入があり質問があった場合、「ETFの組成やETFの裁定取引等による機関投資家の買い需要があったのではないかと考えられる。」(2021年5月の流入を受けた統計情報部長の回答)、「裁定取引などによる機関投資家の売り需要があったのではないかと想定される。」(2021年8月の流出を受けた統計情報部長の回答)、「機関投資家による裁定取引等の買い需要があったものと推測される。」(2021年9月の流入を受けた広報部長の回答)と裁定取引を理由に挙げる事が多かった(投資信託協会会長による定例会

見概要バックナンバー~ <https://www.toshiba.or.jp/pdf/te/chairman/>)

ETFの裁定取引は指定参加者/Authorized Participants/AP(設定と交換を担当するほかマーケットメイカーも行う)と専門マーケットメイカーもしくは流動性供給会社/Market MakersもしくはLiquidity Providers)により行われる。日本では野村証券と三菱UFJモルガン・スタンレー証券以外、米国のETFで圧倒的な強さを誇るジェーン・ストリート/Jane Street、バーチュファイナンス/Virtu Financial、サスケハナ/Susquehanna/SIG、フロートレーダーズ/Flow Traders、オプティバー/Optiver、グラスホッパー/Grasshopperなどである(その他、VivCourt、Nine Mile、BNPパリバ、Fenix One、日本取引所グループ「マーケットメイカー一覧」~ <https://www.jse.co.jp/eqd/inf/products/etfs/market-making/01.html>、米欧の専門マーケットメイカー...2024年12月9日付

投信調査コラムNo.415「私募投信やSMAからETFへ? 米国ではファンドマネジャーもファイナンシャルアドバイザーもETF志向、日本(欧州)では?」~ [https://www.ammf.jp/report/investigate/column\\_241209.pdf](https://www.ammf.jp/report/investigate/column_241209.pdf))

米国のETFエコシステム/ETF Ecosystem(米国のETF関連当事者マップ/A map of an ETF's related parties)



(出所: 赤い破線は強調下線は当レポート筆者、2024年5月21日付VettaFi「ETF Service Providers and the Challenges of Scalability」~ <https://www.etftrends.com/etf-service-providers-challenges-scalability/>、

2025年6月11日付Morningstar「How to Launch an ETF: Key Takeaways for Investors」~ <https://www.morningstar.com/funds/how-launch-an-etf-key-takeaways-investors>)

## ●米国籍はビットコイン等が7週連続純流入で欧州株が2週ぶり純流入～中南米諸国が最有力投資先に浮上!? 世界の中南米株ファンド月次流出入(ETFを含む)～

米国籍投信の週次純設定/ファンド(マネー)フロー推計を見ると、2025年6月18日までの1週間に+580億ドル/約8.5兆円と2週ぶりの純流入(米投信…ETFを含むがMMFを含まない～Morningstar Directより)。

米投信(除くETF)/ミューチュアルファンドは2025年6月18日までの1週間に+63億ドル/約9218億円と2024年12月25日週以来、25週ぶりの純流入。米国籍ETFも+517億ドル/約7.5兆円と2024年11月13日週の+630億ドル以来の大きな純流入で、61週連続の純流入(継続的なミューチュアルファンドの純流出とETFの純流入にはミューチュアルファンドからETFへのコンバージョン/転換も寄与…2023年11月27日付日本版ISAの道 その39「アクティブ

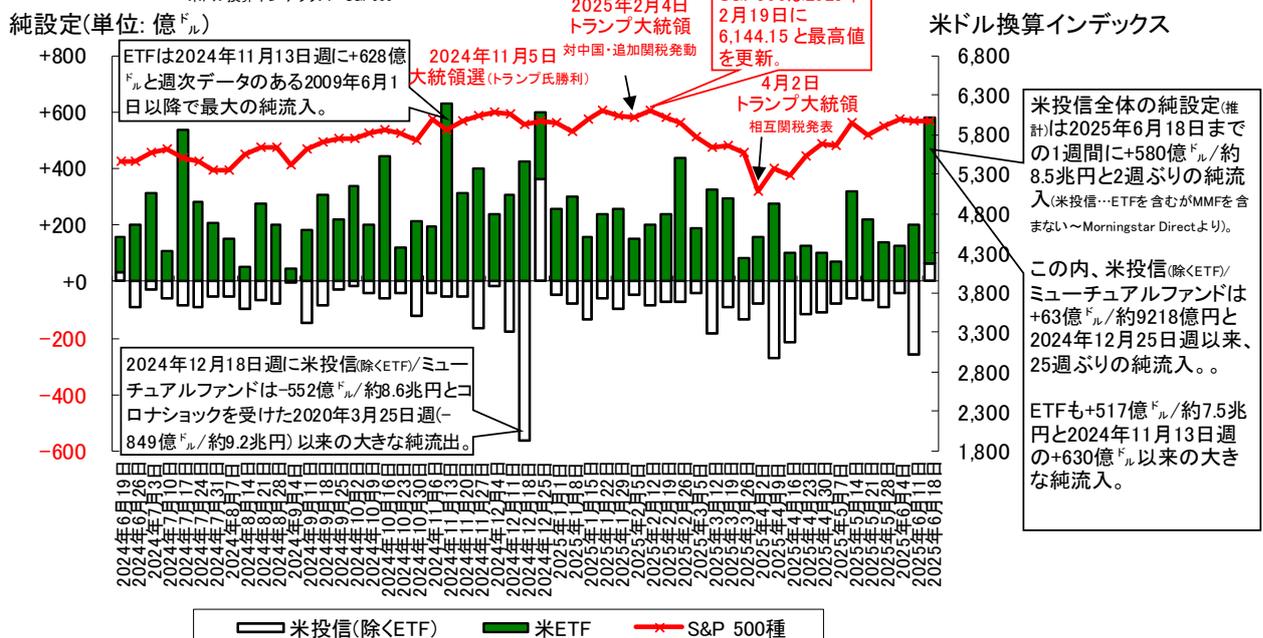
運用型ETFが米国を中心に世界で急増!」～ [https://www.am.fund.jp/report/investigate/column\\_21127.pdf](https://www.am.fund.jp/report/investigate/column_21127.pdf) )。



米国の投信全体の純設定と米ドル換算インデックスの推移  
(2024年6月19日～2025年6月18日、週次データ)

\*米投信(ETFを含むがMMFを含まない)…モーニングスターの「US Open-end & ETF ex MM ex FoF」。

米ドル換算インデックス…S&P500



(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

\*モーニングスターが発表する週次の純設定額(推計)は、算出時点で入手できる投信による推計であり、随時更新される(本レポートは作成時点の最新値を使用)。

2025年6月18日週の投信全体(含むETF、除くMMF)純設定額を分類別に見る。

純流入1～3位は、米国大型ブレンド株(S&P500連動など)、米国大型グロース株、米国大型バリュー株。

純流出1～3位は、トレーディングレバレッジ株式(ブル型)、金融株、社債。

純流入を詳細に見ると、債券が+55億ドルと純流入継続、米国株が+374億ドルと4週ぶりの純流入で、2024年12月25日週(+562億ドル)以来の大きな純流入(週次ベースで2025年最大の純流入)。外国株が+79億ドルと2週連続で純流入加速。オルタナティブが+18億ドルと6週連続純流入、**デジタル資産(ビットコイン等)が+18億ドルと7週連続純流入**、**欧州株が+1億ドルと2週ぶり純流入**、**セクター株が+22億ドルと4週連続の純流入**、商品・フォーカスが+25億ドルと純流入加速傾向。純流出は**日本株が-29百万ドルと2週連続純流出**。



米投信の分類別週間純流出入(純流入の大きい順)

2025-06-18現在

\*ETFを含むがMMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。

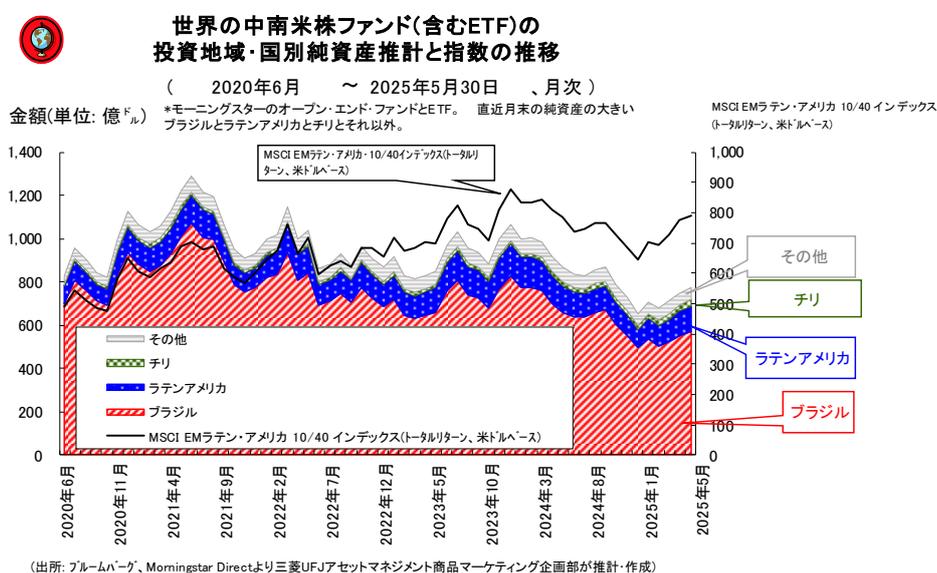
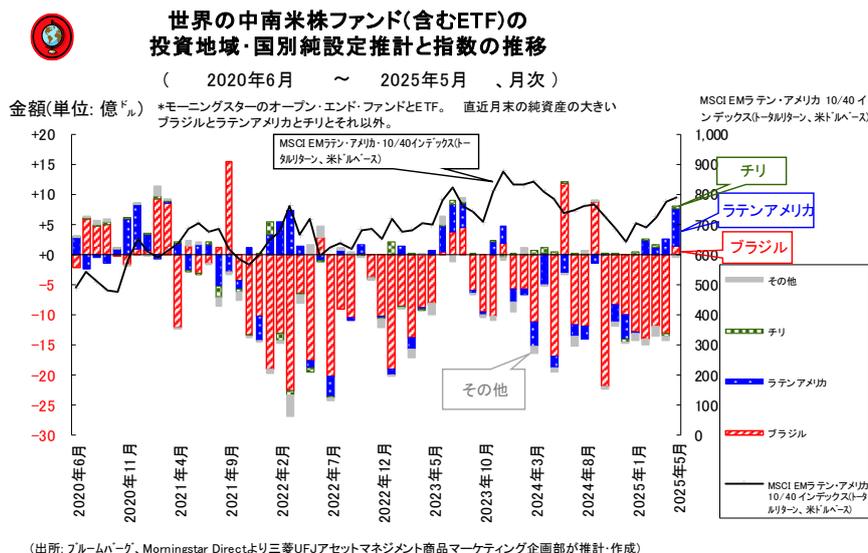
順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万ドル)	純流入 前週 (百万ドル)	純流入 4週計 (百万ドル)	純資産 (百万ドル)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部)	
上位 10 分類 ↑	1 Large Blend	+14,681	-9,692	-1,176	4,970,895	米国大型ブレンド株(S&P500連動など)	
	2 Large Growth	+7,672	-7,008	+848	2,317,293	米国大型グロース株	
	3 Large Value	+7,192	-806	+3,925	1,500,641	米国大型バリュー株	
	4 Mid-Cap Blend	+5,811	+106	+6,343	410,343	米国中型ブレンド株	
	5 Foreign Large Blend	+4,507	+1,004	+5,656	1,204,073	外国大型ブレンド株	
	6 Commodities Focused	+2,468	+944	+5,799	207,717	商品・フォーカス	
	7 Technology	+1,962	+67	+4,634	395,644	米国テクノロジー株	
	8 Diversified Emerging Mkts	+1,897	-118	+632	599,470	グローバル・エマージング株	
	9 Digital Assets	+1,779	+877	+5,218	151,110	デジタル資産(ビットコイン等)	
	10 Defined Outcome	+1,477	+358	+1,735	57,916	ディファインド・アウトカム	
↓ 下位 10 分類	33 Latin America Stock	+236	+98	+470	7,632	ラテンアメリカ株	
	42 Europe Stock	+124	-847	-305	84,257	欧州株	
	94 Japan Stock	-29	+13	-1	36,648	日本株	
	116 Global Real Estate	-147	+39	-91	28,672	グローバル&インターナショナルREIT	
	117 Global Moderate Allocation	-147	-143	-454	216,262	グローバル・モデレート・アセットアロケーション	
	118 Moderately Aggressive Allocation	-256	+235	-47	11,162	モデレート・アグレッシブ・アセットアロケーション(株70~85%)	
	119 Long-Term Bond	-291	-351	-1,414	26,653	米国長期債(6年超)	
	120 Moderate Allocation	-291	-435	-1,396	500,525	モデレート・アセットアロケーション(株50~70%)	
	121 Global Large-Stock Growth	-340	-227	-1,264	277,289	グローバル大型グロース株	
	122 Health	-390	-481	-2,273	109,226	ヘルスケア株	
	123 Small Growth	-398	-364	-1,337	176,624	米国小型グロース株	
	124 Diversified Pacific/Asia	-484	+134	-260	10,355	グローバル・アジアパシフィック株	
	125 Foreign Large Growth	-571	-745	-2,984	347,437	外国株大型グロース株	
	126 Corporate Bond	-851	-1,255	-897	173,332	社債	
	127 Financial	-1,098	+496	-1,719	96,520	金融株	
	128 Trading--Leveraged Equity	-1,333	-1,210	-3,708	108,146	トレーディングレバレッジ株式(ブル型)	
	全128分類の合計		+57,964	-6,152	+65,342	21,772,977	
		指数名	リターン※ 最新週(%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
	TOPIX (東証株価指数)	+0.70	+0.13	+2.83			
	S&P500	-0.65	+0.89	+2.45			
	MSCI ワールド	-0.73	+0.68	+1.96			

(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

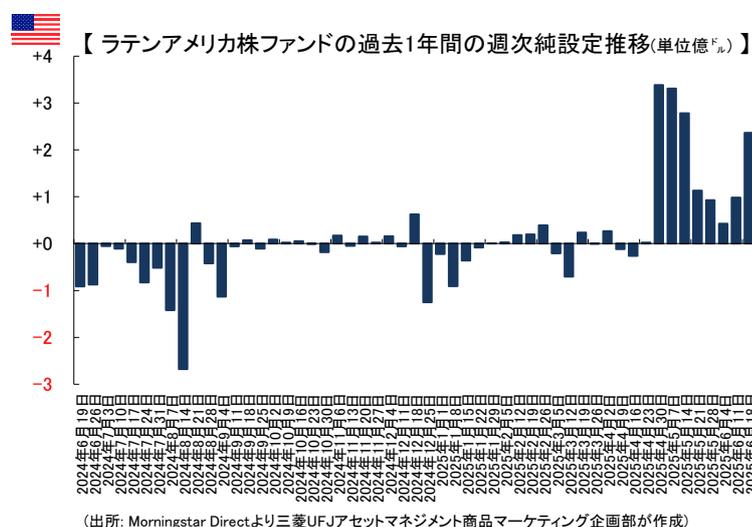
※現地通貨(MSCI ワールドは米ドル)ベース、配当込み指数。

2025年6月12日に米国のロイターが「中南米諸国、最有力投資先に浮上 軍事や貿易に絡む混乱少なく」と言う見出しで「**世界的に軍事や貿易に絡む紛争が続く中、中南米はこうした混乱が比較的及んでいない地域として注目を集め、最有力の投資先として浮上している。**…(略)…。イタウBBAの株式部門責任者、レオナルド・リネット氏は『今は中南米に投資するという考え方が受け入れられやすくなっている。株価が割安な上に、新興市場は選択肢が乏しいからだ。**中国は貿易戦争の震源地で、インドは株価が割高な上にパキスタンとの間で地政学的問題を抱え、投資家はロシア投資を避けている**』と指摘した。」と報じた(強調下線は当レポート筆者、日本語でも~ <https://jp.reuters.com/quick/forex-forum/F4R3E3E0WNP5MMLDR4YWN9GA-2025-06-12/>)。

世界の中南米株ファンドについて投資地域国別に見る。**世界の中南米株ファンド(含むETF)は2025年5月に+7億6000万ドル/約1100億円と2024年9月以来、8か月ぶり純流入。** ラテンアメリカとチリが先行し、純資産で7割強を占めるブラジルが5月に純流入に転じている。



最新6月以降も含めた2025年6月18日までの米国籍ラテンアメリカ株ファンド(含むETF)は、8週連続の純流入で加速傾向である。



以上

三菱UFJアセットマネジメント【投信調査コラム】日本版ISAの道(及び投信調査レポートの一部)のバックナンバー:

「 <https://www.am.mufg.jp/report/investigate/> 」。

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 商品マーケティング企画部

松尾 健治( [kenji-matsuo@am.mufg.jp](mailto:kenji-matsuo@am.mufg.jp) )、

窪田 真美( [mami1-kubota@am.mufg.jp](mailto:mami1-kubota@am.mufg.jp) )。

### 本資料に関してご留意頂きたい事項

■本資料はNISA(少額投資非課税制度)など内外の資産運用に関する情報提供のために、三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。

■本資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。

■本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の筆者の見解です。

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

■投資信託は値動きのある有価証券を投資対象としているため、当該資産の価格変動や為替相場の変動等により基準価額は変動します。従って投資元本が保証されているわけではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

### 本資料中で使用している指数について

■TOPIX(東証株価指数)に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

■日経平均株価に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。

■MSCIヨーロッパ・インベスタブル・マーケット・インデックスに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。



## 三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会